

進路かわら版

進路指導だより

日田林工高等学校
進路指導室
平成30年
9月10日号

休めなかった夏休み

3年生にとっては高校生活最後の夏休みでしたが、ゆっくりと休んでいる暇はなくとても忙しい毎日でした。1、2年生にも来年以降に同じようなスケジュールが待っています。この夏休みに3年生が取り組んだ内容を振り返ってみましょう。

三者面談で受験先の決定

終業式の翌日から各学科・クラスで三者面談が行われました。これまでに行った希望調査をもとに希望受験先を生徒、保護者、クラス担任（学科主任）の3者で最終的に決定します。各クラスから出そろった希望一覧をもとに、8月上旬には選考委員会が開かれてそれぞれの応募先が決定しました。

各科の夏期補習

例年のことですが、夏期補習が3年生全員を対象に行われました。各学科とも前期1週間、後期1週間の計2週間程度行いました。科によって内容は異なりますが、一般常識やSPI試験対策等、就職試験に向けて役に立つ内容を取り組みました。

履歴書の作成

三者面談が終了したら履歴書の作成が始まります。採用試験以外に自分をアピールできる唯一の手段ですから、熱心にならないわけにはいきません。クラス委員や部活動、資格・検定の取得状況、志望動機などを記入します。全ての項目が自己PRです。下書きを何度も作成し、より完璧な書類を目指します。クラス担任の先生方は、生徒の思いや個性が適切に伝わるようにアドバイスを繰り返します。清書では少しのミスでも許されません。1枚の履歴書を完成させるのに10数枚を書くことも珍しくないのです。



先生に下書きの添削を受ける

集団討論講座

採用試験では通常の面接だけではなく集団討論（グループディスカッション）やグループワークを実施する企業が増えました。これらの選考方法は、限られた時間で複数の生徒の性格や能力、適性を同時に見ることができるというメリットがあります。

本校でもその対策として練習の機会を設けています。本年も8月20、22日の2日間「集団討論講座」を実施しました。参加者41名は、採用試験本番に向けて真剣な態度で取り組んでいました。全員が5～6名のグループに分かれて「学生と社会人の違い」など与えられたテーマを討論し、各班でのまとめを発表しました。通常の面接にも役立つ内容も多く貴重な体験ができたようです。



グループに分かれて真剣討論

面接講座応用編

7月に行われた基礎編に引き続いて、8月29、30日には応用編が開催されました。実践形式で模擬面接が行われ、基礎編よりも詳しい質問や追加の質問がなされて9月の本格的な面接練習に備えました。

グループワーク講座

グループワークは、与えられたテーマについてグループで考えて作業し、何かを作ったり結論を出したりします。テーマに挑む過程で受験者の取り組みを人事担当者が観察する選考方法です。コミュニケーション能力として大切な伝える力、聞く力、協力する力などを評価することができます。最近では、採用試験にこのグループワークを取り入れる企業も多くなってきました。

8月30日に行った講座では、参加者が各グループに分かれて、与えられた情報カードを元に街の「地図づくり」や夏まつの露店配置図を作成する課題に取り組みました。



力を合わせて課題に取り組む

紙面の関係で紹介できませんが、この他にも「公務員受験講座」や「応募前見学」など多くの行事が実施されました。休むに休めない、有意義な夏休みでした。